



詳しくは、研究所にお問い合わせください。

3 熊本農業の未来を拓く 攻めの農業技術開発

阿蘇地域の草地における牧野ハザードマップ

農家の高齢化や後継者不足等により、牧野での放牧及び農作業における危険箇所情報の伝承が困難で、放牧事故や農作業事故発生の要因の一つとなっています。そこで、牧野の傾斜角度から危険箇所を抽出し牧野ハザードマップを作成しました。

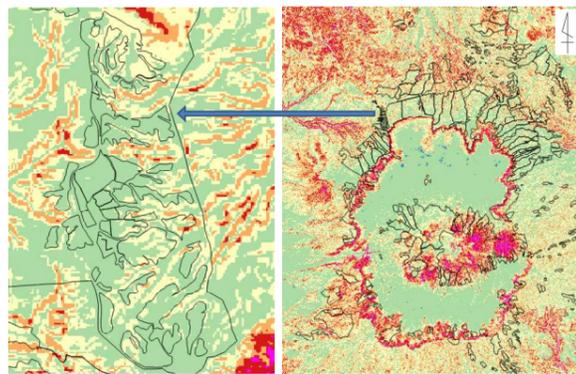
1 研究の成果

牧野内の放牧及び農作業機械操作におけるそれぞれの

危険箇所数及び面積を事前に把握できます。事故発生箇所や危惧される場所をハザードマップにプロットすることで放牧事故及び農作業事故リスクを減らすことができます。

2 期待される効果

ハザードマップを使用して、危険箇所に有刺鉄線等を張り、放牧牛の侵入を防ぐことで放牧事故や農作業事故の発生を抑制することが可能となります。



牧野ハザードマップ(左:拡大図)

区分	放牧		農作業機	
	箇所数 (箇所)	面積 (m ²)	箇所数 (箇所)	面積 (m ²)
10度以下	3.6	6,515	33.6	84,485
10~20度	41.7	65,527	39.1	404,107
20~30度	82.9	234,543	16.1	742,013
30度以上	61.0	294,600	2.0	375,300

表 危険箇所数および危険箇所面積の平均値

KUMAMOTO Pref.
農業研究センター
〒861-1113
熊本県合志市栄3801
tel 096-248-6411
fax 096-248-7039
E-mail
noukenkikaku@pref.kumamoto.lg.jp

本紙の内容に関するお問い合わせは、
企画調整部 企画情報課 まで
ご連絡ください

管理部
総務課
経理課
096-248-6412
企画調整部
企画情報課
096-248-6423

農産園芸研究所
作物研究室
矢部試験地
バイオ育種研究室
花き研究室
野菜研究室
096-248-6444
生産環境研究所
土壌環境研究室
施設経営研究室
病害虫研究室
096-248-6447
茶業研究所
096-282-6851

畜産研究所
大家畜研究室
中小家畜研究室
生産基礎技術研究室
飼料研究室
096-248-6433
い業研究所
アグリビジネス支援室
0965-52-0500
フードバレー推進室
0965-52-1020
いぐさ研究室
0965-52-0372
いぐさ普及指導室
0965-52-0782
野菜栽培研究室
0965-52-0770

草地畜産研究所
0967-32-1231
果樹研究所
常緑果樹研究室
落葉果樹研究室
病虫害化学研究室
0964-32-1723
高原農業研究所
0967-22-1212
球磨農業研究所
0966-45-0470
天草農業研究所
0969-22-4224

平成28年度

「農業の新しい技術」公表

当センターでは、生産現場へ速やかに普及・定着を図る成果について、「農業の新しい技術」として公表しています。

平成27年度の研究成果のうち、以下の成果を公表しました。今後、この農研NOWでこの技術の内容についてご紹介していきます。

なお、「新しい技術」及び指導者向けの「農業研究成果情報」は当センターのHPにて公開しておりますので、ご覧ください。

- 1 褐毛和種種雄牛「光重球磨五」の選抜
- 2 黒毛和種種雄牛「百合照茂」の選抜
- 3 水稻品種と苗の種類を組み合わせた機械作業時期の分散
- 4 胸囲の測定値から黒毛和種子牛の体重が推定できる
- 5 阿蘇地域の草地における牧野ハザードマップ
- 6 紅が濃く見栄え抜群の早生カンキツ「みはや」の高品質果実生産技術
- 7 牛ふん堆肥中のク溶性リン酸・カリ量で化学肥料を代替する減肥技術
- 8 ナシのモザイク症状の被害は展葉初期から新梢伸長期までの2回の薬剤散布で軽減できる



今号で紹介する新しい技術

- ① 褐毛和種種雄牛「光重球磨五」の選抜 P.2
- ② 黒毛和種種雄牛「百合照茂」の選抜 P.3
- ③ 阿蘇地域における牧野ハザードマップ P.4



1 「くまもと農業」の未来を発信できる新品種

あかげ

みつしげくまご

褐毛和種種雄牛「光重球磨五」

本県で昔から多く飼われている「あか牛」とよばれる和牛・褐毛和種について、その牛肉の生産性・品質の向上を図るため、優秀な種雄牛を選抜しました。

1. 特徴

バラの厚さの成績が歴代ナンバーワン！質も量も抜群の能力。極めて優れた成績を持つ種雄牛であり、希少系統である重波系「光重球磨」の後継牛です。

2. 期待される効果

枝肉重量が大きく、ロース芯面積も大きいうえに脂肪交雑もしっかり入る、三拍子そろった大変優秀な種雄牛で、本種雄牛による褐毛和種の繁殖雌牛への交配が期待されます。



【産子の枝肉】



形質	程度	-1	0	1	2	3	4	程度	SBV
枝肉重量	小さい							大きい	1.91
ロース芯面積	小さい							大きい	2.23
バラの厚さ	薄い							厚い	3.19
皮下脂肪	厚い							薄い	0.61
脂肪交雑	少ない							多い	2.07

※SBV(標準化育種価): 遺伝的な個体の特徴を明確にするため、育種価(遺伝的能力)を標準化した数値



2 「くまもと農業」の未来を発信できる新品種

ゆりてるしげ

黒毛和種種雄牛「百合照茂」

全国に通用する優良な県産種雄牛の作出が期待されており、牛肉の生産性・品質向上を図るため、優秀な種雄牛を選抜しました。

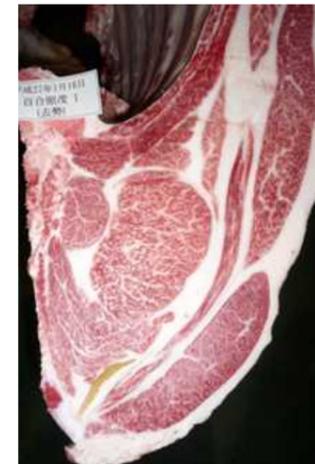
1. 特徴

脂肪交雑やロース芯面積の大きさに優れた成績をもち、育種価における脂肪交雑の評価においては、本県基幹種雄牛である「平茂幸」を上回る能力をもつ種雄牛です。

2. 期待される効果

産子の枝肉成績を評価した全国の黒毛和種種雄牛2,352頭中、脂肪交雑が31位、ロース芯面積が179位と期待度が非常に高い種雄牛で、本種雄牛による黒毛和種の繁殖雌牛への交配が期待されます。

【産子の枝肉】



形質	程度	-1	0	1	2	3	程度	SBV
枝肉重量	小さい						大きい	0.05
ロース芯面積	小さい						大きい	0.77
バラの厚さ	薄い						厚い	0.53
皮下脂肪	厚い						薄い	-0.22
脂肪交雑	少ない						多い	1.77

※SBV(標準化育種価): 遺伝的な個体の特徴を明確にするため、育種価(遺伝的能力)を標準化した数値

い業研究所に
フードバレー推進
室、いぐさ普及指
導室を設置

八代市鏡町にあるい業研究所にフードバレー推進室、いぐさ普及指導室が新たに設置されました。

くまもと県南フードバレーの推進、いぐさの生産・加工技術の指導等を行います。



紹介

フードバレー
アグリビジネスセンター

くまもと県南フードバレー構想の中核施設として、県南地域の豊富な農産物を活かし、高付加価値化に関する試験研究を行うとともに、6次産業化の支援や事業者と食関連企業などの新たな結びつけを行い、地域の活性化に繋がるオープンイノベーションを創出します。

〒869-4201

八代市鏡町鏡村363

TEL 0965-52-0500

E-mail info@abc-

kumamoto.jp

URL http://www.abc-

kumamoto.jp

